

令和元年度 12月補正予算案



京 都 府



予算編成の基本方針

全国的に今なお深刻な事案の相次ぐ児童虐待への対策や、子どもの交通安全対策の強化、台風第19号等、本年発生した災害で明らかになった課題への対応、貴重な文化財の焼損を踏まえた防火・防災対策など、府民の安心・安全を高めるため直ちに取り組む必要のある緊急対策を講じるとともに、来年5月に府内で実施される聖火リレーに向けた準備を推進するため、補正予算を編成。

1. 安心・安全のための緊急対策
2. 聖火リレーの準備

1. 安心・安全のための緊急対策



相次ぐ児童虐待事案への対応

新 児童虐待・DV防止連携強化事業費

4百万円

背景：全国で若い命が犠牲になる痛ましい事件が相次ぐとともに、本府においても児童虐待通告件数が年々増加

㉗	㉘	㉙	㉚
1,120件	1,502件	1,663件	2,104件

本府受理件数
過去最高
(3年前の約2倍)

㉚ (8月末)	R1 (8月末)
830件	1,068件

本年度も受理件数
は増加傾向
(同月比約1.3倍)

○ 児童虐待の死亡事案や重篤化を未然に防止するため、以下の取組を実施

- ① DVと児童虐待が絡み深刻化するケースが見られることを踏まえ、「児童虐待・DV防止連携推進員」を府内3箇所家庭支援センターに配置し、情報共有と連携を強化することにより、リスク家庭の早期の把握に繋げる
- ② 児童虐待とDVとが複合的に発生する現場での対応力を強化するため、関係機関が対象家庭への支援手法を学ぶ研修プログラムを策定し、次年度から実施



子どもの交通安全対策の強化

新 未就学児交通安全促進事業費

1百万円

背景: 大津市での交通事故を受け、関係機関合同で、保育園児等の散歩コースの緊急点検を実施するとともに、6月補正予算で交通標示等の安全対策を実施

また、本年11月に国が保育園等の周辺道路におけるキッズ・ゾーン制度を創設

※キッズ・ゾーン: 保育園児等の園外活動等の安全確保に向けた交通安全対策を行うエリア

○ 本府がこれまで取り組んできた関係機関による連携の枠組みを活かし、府域におけるキッズ・ゾーンのスムーズな設定等に向けた検討会を開催

子どもの交通安全対策の更なる強化・充実に結びつける

こども・教育部局
(京都府・市町村)

設定検討会(仮称)

警察

保育園等

道路管理者

＜キッズ・ゾーン設定の流れ＞

- ▶ 市町村保育担当部局によるキッズ・ゾーンの設定
- ▶ 道路管理者による路面塗装等の実施
- ▶ 警察による交通安全施設整備、交通取締り等の実施

※幼稚園周辺道路については引き続きスクール・ゾーンを設定。



頻発する自然災害を踏まえた対応

新 避難所等緊急実態調査費

30百万円

背景：令和元年台風第19号等による大雨では、関東・甲信越・東北地方の広範な区域が浸水し、多くの方が避難所に避難したが、

- ① 避難所自体が浸水
- ② 避難経路上で被災者が多数発生
- ③ 避難者が多い場合は収容しきれないおそれ

といった、避難所の立地や規模・避難経路等に係る課題が顕在化

○ 府内における今後の備えとして、これらの課題を検証するため、府内の避難所の状況を緊急的に調査し、データベース化

- ▶ 調査項目(例)：立地条件(浸水想定区域等指定状況 等)、避難経路(主要避難経路の現状、浸水想定 等)、施設概要(規模、収容人数、設備 等)



調査結果に基づき、市町村と連携して課題の抽出や改善方策を検討



文化財の防火・防災対策

新 文化財緊急防火・防災対策事業費

60百万円

背景：今春のノートルダム大聖堂火災や、先月の首里城跡の火災など、世界的な文化財の火災が相次いで発生



国民の財産である貴重な文化財を数多く有する本府においても、文化財の緊急的な防火・防災対策が急務

○ 文化財所有者が行う防火・防災設備の整備や機能向上を促進するため、府指定文化財等に係る補助率を臨時的に嵩上げする緊急対応を実施

既存補助率 $2/3$ 又は $1/2$

 $3/4$ に嵩上げ

- ▶ 合わせて、国指定文化財に係る補助申請状況を踏まえた予算の増額や、府指定文化財の防火設備の現況調査等を実施



炎センサー



延焼防止のための放水設備

2. 聖火リレーの準備



聖火リレーの実施に向けた準備

新 東京2020オリンピック聖火リレー準備費

13百万円

背景：来年5月26日～27日に聖火リレーが府内で実施

〔京都府における聖火リレー概要〕

(1日目)5月26日(火)

京丹後市→宮津市→舞鶴市→綾部市→福知山市→長岡京市→亀岡市

(2日目)5月27日(水)

宇治市→宇治田原町→城陽市→木津川市→精華町→京田辺市→八幡市→久御山町→京都市



府民の想いをつなぐ聖火リレーの円滑な実施に向け、府域の盛り上げや、沿道警備の準備等に年度内には着手する必要

(1) 聖火リレーの準備に取り組む沿道市町への支援

- ▶ 聖火リレーの警備や関連イベント等に取り組む沿道市町を支援〔補助率：1／2〕

(2) 京都スタジアムで実施するセレブレーションの準備

- ▶ 聖火リレー1日目のゴール地点である京都スタジアムにおいて、本府のセレブレーションイベントを実施





予算案の規模

令和元年度 現計予算

899,278 百万円

令和元年度 12月補正予算

108 百万円

合計

899,386 百万円

対前年12月補正後比較
(101.1 %)

令和元年12月定例会 提案予定の主な条例の概要

- 1 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例
- 2 京都府迷惑行為防止条例の一部を改正する条例

京 都 府



京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例案の概要

【ねらい】

- 今後、建設需要や災害復旧による土砂発生量の増加も見込まれる状況を踏まえ、土砂等の不適正な埋立て等による災害の未然防止のため、「違反行為の即時中止」や「原状回復の確保」に係る措置の強化を図る。

【主な改正内容】

○ 土砂等搬入禁止区域の指定制度の導入

埋立て等の継続により土砂等の流出、崩壊等の災害が発生するおそれがあると認められる区域を指定し、搬入を禁止

罰則
⇒ 6月以下の懲役又は50万円以下の罰金

○ 違反行為の中止や原状回復を命じる対象者の拡大

不適正な埋立て等を助けた者等を命令対象に追加

罰則
⇒ 2年以下の懲役又は100万円以下の罰金

○ 災害発生防止措置の勧告制度の導入

不適正な埋立て等が行われていることを知りながら是正措置を講じない土地所有者に対し、必要な措置を講じるよう勧告

⇒ 公表

○ その他

一団地規制(一体性が認められる行為について埋立面積を合算して規制)の明文化 等

【特 徴】

- 土砂等搬入禁止区域、災害防止措置勧告、命令対象の拡大を備える条例は全国2例目
- 近隣県も含め全国で土砂条例制定が進みつつある中、府内の規制をしっかりと強化し、不適正な土地の埋立て等が行われることを防止



京都府迷惑行為防止条例の一部を改正する条例案の概要

【ねらい】

- 近年、悪質・巧妙化している盗撮等の卑わいな行為に的確に対応し、府民等の平穏な生活を保持する。

【主な改正内容】

○ 新たな態様の卑わいな行為に対する規制

現行条例で規制している8種類の行為類型に該当しない卑わいな行為(例:スマホを使用した性的な映像の送りつけ)を規制するため、「これらのほか卑わいな言動をすること」を規制対象として追加

○ 盗撮行為に対する規制の拡充

- ・「事務所、教室、タクシーその他不特定又は多数の者が出入りし、又は利用するような場所又は乗物」においても下着等の盗撮を規制
- ・「住居、宿泊施設の客室、更衣室、便所、浴場その他人が通常着衣の全部又は一部を着けない状態であるような場所」においても裸体や下着姿の人に対する盗撮を規制

○ 盗撮の準備行為に対する規制の拡充

現行条例で規制している下着等を盗撮しようとして撮影機器を差し出す行為のほか、裸体や下着等を盗撮する目的で「撮影機器を向ける行為」、「撮影機器を設置する行為」を規制対象として追加

○ つきまとい行為等に対する規制の拡充

特定の者に対する妬み、恨み等の悪意の感情を充足する目的で行われる「つきまとい行為等」の規制対象に、「住居等の付近をみだりにうろつくこと」を追加

○ 罰則の新設・強化

「卑わいな言動」、「撮影機器を向ける行為、設置する行為」の罰則を新設し、「つきまとい行為等」は、被害の程度が大きいものになり得ることから、罰則を強化

【特 徴】

- 観光都市・京都の平穏な生活の保持のため、盗撮の規制場所に宿泊施設の客室を明記